

全自動粘結指数測定器 瀝青炭コークス化特性分析装置

商品番号: KT-TE42



前書き

この自動粘結指数測定器は、標準化された石炭試料の攪拌、静的ブリケット加圧、および機械式ドラム摩耗試験を実行し、瀝青炭のコークス化特性を正確に評価します。冶金研究や工業用実験室の品質管理における正確なG指数値の測定に最適です。

詳細を学ぶ

用途	説明	主なメリット
コークスプラントの石炭配合最適化	さまざまな瀝青炭供給の粘結力と塑性層挙動を評価し、スロット式回収コークス炉用の最適な石炭配合比率を策定します。	目標とするコークス強度を維持しながら、非粘結炭または弱粘結炭の割合を最大化することで、原材料調達コストを削減します。
高炉冶金品質管理	市販の冶金用石炭および微粉炭原料の受入検査を実施し、ドラム強度指数 (DI) および反応後強度 (CSR) を予測します。	規格外のカーボンチャージがコークス炉に投入されるのを防ぎ、炉の劣化を最小限に抑え、高炉のガス透過性を安定させます。
選炭および洗浄施設	異なる生産層および洗浄サイクルにおける、水洗された精炭、中炭、浮選精鉱の膠結特性を評価します。	出荷前に製品の階級の一貫性を検証し、石炭出荷が商業契約や冶金パイヤーの仕様に適合していることを確認します。
鉱業探査と地質学的石炭格付け	標準的な粘結特性指数に従って、新しくボーリングされた石炭コア試料を分類し、正確な地質学的層のプロファイリングと商業的資源評価を容易にします。	パイロットスケールの炭化インフラを必要とせずに、小規模な探査コア試料から再現性のある粘結指標を得ることができます。
燃料および燃焼研究機関	学術および応用燃料科学実験室において、石炭炭化キネティクス、熱軟化範囲、および可塑性物質凝集現象を調査します。	合成燃料や改良コークスの研究に向けた、国家規格に準拠した標準化された再現性のあるベースライン指標を提供します。
第三者検査・試験機関	国際的な商品取引、通関検査、品質紛争解決に向けた、迅速かつ認証された石炭試験サービスを提供します。	スループットの高いデュアルルツボアーキテクチャにより、厳格な規制検証基準を満たしながら、分析のターンアラウンドを迅速化します。

パラメータ	技術仕様 (KT-TE42)
製品アイテム番号	KT-TE42
適用試験規格	GB/T 5447-1997 (瀝青炭の粘結指数決定法)、ログ指数ガイドライン
操作モード	全自動攪拌、静的加圧、ドラム転動、および摩耗試験
試験容量	同時2サンプル
ドラム回転速度	50 ± 2 r/min
ドラム総回転数	250 r (自動回転カットオフ)
ルツボ傾斜角	45° (傾斜ステージ) / 0° (垂直ステージ)
ルツボ回転速度	15 r/min
攪拌ワイヤー回転速度	150 r/min (逆方向回転)
傾斜混合ステージ時間	1分45秒 (105秒)

パラメータ	技術仕様 (KT-TE42)
垂直混合ステージ時間	15秒
静的圧縮印加荷重	6 kg 標準化静的死荷重 / 校正済み荷重
静的圧縮滞留時間	30秒
摩耗後測定サイズしきい値	> 1 mm G値導出のためのコークス塊分離
ユーザーインターフェース&ディスプレイ	リアルタイム動的シミュレーション、速度、サイクルインジケータを備えた産業用タッチスクリーン
外形寸法（幅×奥行×高さ）	400 mm × 455 mm × 340 mm
電源要件	AC 220V ± 10%、50 Hz
定格消費電力	54 W
シャーシ構造	電気機械式安全ハウジング一体型のヘビーゲージコート鋼